

# 公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会(平成 30 年度第4回)

## 議 事 録

【日時】平成 31 年 2 月 3 日(日) 16:00~19:30

【会場】神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席 10 名】 理 事：服部、秦、藤田、栗田、萱間、草山、清水、長野、林  
監 事：日野

【欠席 2 名】 小泉、森下

【議長】 服部会長 【書記】藤田 【議事録署名人】 服部、日野

### 【議題】

#### 〔I〕 報告事項

1. 入退会の報告(藤田総務部長) 2018.11/1以降、2019.1/31まで
  - ・入会者 2名(1月入会 正会員：松野靖史)  
(1月入会 正会員：野田彩花)
  - ・退会者 1名(12月末 正会員：細川里佳 理由：会の行事に参加できないため)  
※更に1名の正会員退会希望あり、退会届待ち(恒川暁子：理由は細川先生と同じ)  
※学生会員 変動なし
  - ・1/31現在の会員数 244名(正会員 235名、学生会員 9名)
  - ・現在審議中 1名 (正会員<再入会>：糟谷卓志)
  
2. みなし決議案(藤田総務部長)
  - ・みなし決議(橋口知光会員の保険部員推薦承認の件) 12/1 承認 <長野>
  - ・みなし決議(松野靖史殿に対する 正会員としての入会承認の件)  
12/25 承認 <清水>
  - ・みなし決議(野田彩花殿に対する 正会員としての入会承認の件)  
1/10 承認 <清水>
  
3. 会務報告(藤田、秦)
  - ①1/14 第6回業務執行理事会 別紙参照(藤田)
  - ②1/14 日鍼会・関東(信越)ブロック正副師会長会議 別紙参照(藤田)
  - ③1/20 かながわ鍼灸マッサージ推進協議会・賀詞交歓会(秦)  
参加者：県議 26名、あはき系 3団体 70名 次年度は 1/19 を予定

1/31 かながわ鍼灸マッサージ推進協議会・第17回会議（秦）

- ・災害協定の進捗状況について報告がされた。3 団体協調し推進協議会として県と災害協定を結んでいく。
- ・その他、次年度は 5/12 に杉山祭、8/25 納涼会が予定されている旨が報告された。

4. 各部報告

別紙報告書および口頭にて以下の各部報告がされた。

(1) 総務部（藤田）

①平成 30 年度会員アンケート結果報告

別紙報告書参照の上、抜粋して以下が報告された。

- i. 回答者数 78 件（回答率 31.9%）
- ii. 会員ニーズでの当会に所属する最も強い理由を上位 3 つを挙げると  
1 賠償責任保険の加入 30 名(38.5%)、2 学術行事（学術講習会・イブニングセミナー・新人研修）15 名(19.2%)、3 療養費（保険）取扱い 9 名(11.5%)  
→担当者所感として「これらに対し、しっかりと提案できる事が重要と考える」との意見が挙げられた。
- iii. 会費値上げについて
  - ・月 500 円までなら許容できる 41 名(52.6%)
  - ・月 1,000 円までなら許容できる 14 名(17.9%)
  - ・月 2,000 円までなら許容できる 5 名(6.4%)
  - ・月 3,000 円までなら許容できる 1 名(1.3%)
  - ・値上げは許容できない 17 名(21.8%)  
→担当者所感として「許容できない 21.8%の方から併せて提出されているコメントに対し丁寧に回答をし、誠実な対応が必要であると考え」との意見が挙げられた。

(2) 学術部（草山）

①1 月 19 日イブニングセミナー報告

医師木村朗子先生へバイタルサインの基礎（導入）講座の依頼から、臨床推論のご講義をいただいた。参加者は計 12 名であった。

(3) 保険部（長野）

別紙報告書参照の上、

- ①2/9 に初めての県内国保の取扱いの指導会を行う予定（今後は第 1 木を予定している）であり、各部・各位へのご理解、ご協力の依頼が伝えられた。  
今回の県への提出に際して、10 日までに申請の必要があり、翌日に申請書を事務局に持っていてもらいたいと考えている。事務局業務にて難しい場合は長野部長が予定が空けられ、提出に行く事とした。

- ②本日（2/3）の指導会については別紙報告書参照の事
- ③2/26の全国保険部長会議については別紙報告書参照の事

（4）組織共済部（清水、林）

別紙報告書参照の上、  
業団説明会が今月末からあり、各部に資料作成を依頼しており、協力をお願いする旨の報告がされた。

（5）広報部（萱間）

現在、アキューモ作成中であり、作成が進み次第、改めて報告する旨が報告された。

（6）普及部（代理：服部）

- ①3月に小田原尊徳マラソンがあり、現在ボランティアを募集中である。2月郵送物においても募集を行う予定である旨が報告された。

（7）危機管理委員会（秦）

来年度の災害研修会は9月8日（日）の日程にて他団体と相談中である旨が報告された。

4. その他

- ・今後のビジョンについて（服部）  
ネガティブな意見についてはコメントを発信する旨が報告された。

〔Ⅱ〕審議事項

1. 各部より

（1）財務部（栗田）

- ・予算案について  
別紙の通り提案がされた。  
なお、補足（Point）として、ここ数年のトレンドの中で久々の黒字予算となる旨（会費見直しの前提の下）、会費見直しがされた場合の推移、会費見直し後の会員区分および一括払・月額払毎の会費金額、以上が示され、改革途上ながら着実な改善を見せる年度になる旨が伝えられた。  
審議の結果、全会一致で承認された。

（2）学術部（藤田）

- ・スポーツトレーナー研修会関東ブロック内相互共催案について  
別紙の通り提案がされ、まずは関東ブロック内他県の参加費状況や相互協力を藤田よ

り確認する事となった。その上で、相互共催ではなく各県会員価格での参加にて相談する事が全会一致で承認された。以上に基づき、今後の進め方については藤田副会長に一任する事も併せて承認された。なお、当会の財政状況および当会でのスポーツトレーナー研修会開催状況より、東鍼会への一方向の共催については行わない事が全会一致で承認された。また、東鍼会との診察学Ⅰについては引き続き共催する事も全会一致で承認された。

### (3) 保険部（長野）

- ・ はりきゅうマッサージ療養費審査委員会について  
別紙の通り提案がされた。

なお、補足として、審査委員について業団には3枠ありかながわ鍼灸マッサージ推進協議会加盟団体で案分する話が挙げた旨、その上で日本マッサージ師会が辞退し、会員数等より神奈川県鍼灸マッサージ師会が2枠、当会が1枠の旨がある旨が説明された。

審議の結果、全会一致で承認された。委員については保険部に一任する事も併せて承認された。

### (4) 組織共済部（清水、林）

#### ①再入会【糟谷卓志 氏】について

平成 28 年度未納にて退会処分となった当該者に関して前例に倣い、「再入会に関する覚書」の記載（別紙参照）、未納付年度最低必要経費（郵送コストなど）及び平成 30 年度再入会費用を納める事で再入会を認めるかどうか意見が求められた。

当該者の過去の当会入退会状況をその場で確認したところ過去にも退会処分があった事が分かり、慎重な対応が必要となった。本件については、組織共済部にて再度確認し、改めて相談、提案する事となった。

また、過去の対応事例があるものの、会費や会員身分に関わる事であるため、会費全額納入が原則である事が承認された。

なお、定款施行規則に関わる案件でもあり、今後整理していく事となった。

#### ②業団説明会資料作成の協力依頼について

別紙の通り提案がされた。

審議の結果、全会一致で承認された。本件について、既に各部・各担当者へ依頼をしているところだが、改めて協力依頼がされた。

### (5) 普及部（代理：服部）

- ・ マラソンボランティアにおいて、大会側からウィンドブレーカーが貸出や支給される事があり、その際に当会ウィンドブレーカーを脱ぐ事が必要な場合が生じた。そのため、当会でのビブス作成が提案された。なお、購入に際しては 20 着を希望し、業者の選定や相見積もりは現在出来ていない。その上での提案として審議された。

審議の結果、全会一致で承認された。但し、予算については財務部との相談しながら進める事となった。

#### (6) 危機管理委員会 (秦)

##### ・ 共催費について

他県との共催事業について、他県への共催及び当会への共催において、現在は参加費を参加者所属県に返金する形が東鍼会との共催において成り立っている。本件について、共催費は支払う（頂く）のみで、参加費は開催県の収益とする案を提案し、承認後、他県に相談をする形を取りたいと考える。

審議の結果、全会一致で承認された。

その上で、東鍼会への相談は診察学の打合せに合わせて、藤田学術統括が行う事となった。

#### (7) その他

##### ①この指とまれプロジェクト・勉強会の自主勉強会への変更案 (藤田)

別紙参照の上、一部訂正がされた。

\*訂正箇所：参加費について、(今後の当会会員に対し行事無償化も視野に入れ) 無償とし、但し、通常外の講師などを呼ぶ事があった際は上限を参加者一人当たり 1,000円程度に留め徴収する事は許容範囲、との訂正がされた。

審議の結果、全会一致で承認された。

但し、当会での経歴実績のある森下元先生、石川家明先生（主催萱間理事、秦副会長）による勉強会である事、偏りのない勉強会である事が条件に承認された。今後、他の勉強会開催の要望があった際も当会実績及び偏りの有無より判断し、私塾とならない事が条件とされた。

#### 〔Ⅲ〕 その他

##### 1 事業計画について (藤田)

今月中の立案を目指し、改めて理事・各部へ提出を依頼する旨が伝えられた。

次回、平成 30 年度第 5 回理事会開催：3/3(日) 18:00

場所：公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 事務所にて

以上で、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。(作成：総務部長藤田)

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成 31 年 2 月 3 日

代表理事

印

監事

印